

約1300年前の都から出土した
実際の遺物にさわれるよ

「幻の都」へ ようこそ!

く に きゅう
恭仁宮を体験しよう!

無料

申し込み不要

瓦作り体験



バッチ作り体験



2023

2.18 **土** 19 **日**

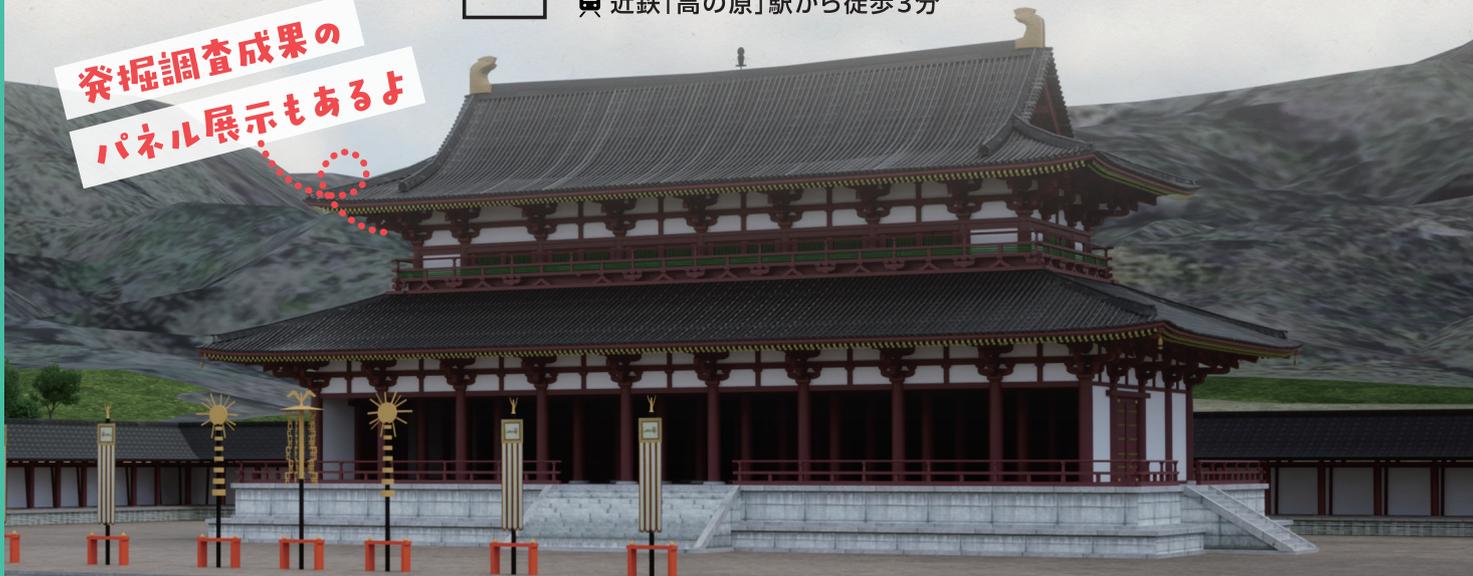
10:00-18:00

場所

イオンモール高の原 2階
平安コート

近鉄「高の原」駅から徒歩3分

発掘調査成果の
パネル展示もあるよ



お問い合わせ

京都府教育庁文化財保護課

TEL 075-414-5903



お茶の京都

幻の都 恭仁宮ってどんなところ？

教科書でおなじみのアレの舞台

天平12(740)年、聖武天皇は平城京から恭仁宮へ都を遷すことを決めました。つまり、奈良時代に日本の首都がこの地に造られていたのです！

恭仁宮が首都だったのはわずか3年余りですが、「国分寺建立の詔」や「墾田永年私財法」といった、現在の教科書にも載っているような有名な法律が作られるなど、歴史上の重要な舞台となりました。現在、恭仁宮跡の広い範囲は国指定史跡となっています。



こんでんえいねんしざいほう
墾田永年私財法！

ってなぜか
言いたくなる...

第45代天皇
聖武天皇



恭仁宮跡は
京都府の南の端、
木津川市
加茂町にあるよ！

引っ越し大好き!? 聖武天皇

740年12月、聖武天皇は恭仁宮を新たな首都と定め、役人に平城京から引っ越してくるように命じました。そして人だけでなく、大極殿や回廊などの大きな建物も解体して恭仁宮に運ばれました。

しかしその後、天平17(745)年までの間、聖武天皇は大阪、滋賀、そして再び奈良と、宮を転々します。なぜそれほど遷都を繰り返したのか...その理由はいまだはっきり分かっていません。そして都が平城京に戻った後、恭仁宮の大極殿は山城国分寺の施設(金堂)として利用されました。



「これ俺が作った！」名前入りの瓦

恭仁宮跡の発掘調査で、最も多く見つかるのは屋根に葺かれた瓦です。これらの中には、平城京で使っていた瓦のリサイクル品も含まれていますが、恭仁宮で新調されたものが中心です。

中には「恭仁宮式文字瓦」と呼ばれる瓦工人の名をスタンプした瓦もあります。これらは、天平12~15年に造られた、まさに天平の瓦といえるでしょう。



六人部 出雲 大伴 中臣



もっと
知りたくなったら

恭仁宮を探検しようにも参加してね！

恭仁宮跡ってどんなところだろう？

何が残っているんだろう？

現地を歩きながら、

専門職員が史跡を詳しく解説します。



2023 2.5 日 13:00-

集合場所 恭仁小学校 校門前(木津川市加茂町例幣)

こっちもあるよ 恭仁宮フォーラム

聖武天皇と幻の都・恭仁宮

～幻の都の実像に迫る～

大学教授や歴史小説作家を招き、講演やトークセッションを実施。かつて幻の都と呼ばれた恭仁宮の実像に迫ります。

2023 2.4 土 10:00-16:00
(開場9:30)

場所 国立京都国際会館 本館2階Room A

無料

要事前申し込み

恭仁宮を探検しよう 恭仁宮フォーラム

申し込みはこちらから(共通)

申し込みフォーム ▶



または

TEL:075-414-5903

(京都府教育庁文化財保護課)